

2001年度からは、天木志保美先生の後任として、関西学院大学より立木茂雄先生を家族社会学担当の教授としてお迎えします。立木先生は、長年家族システム論の研究に従事され、家族の機能評価尺度の開発や家族のカウンセリングなど、実践的な家族問題の研究に携わってこられました。1995年の阪神・淡路大震災を契機として、ボランティア研究や災害研究をはじめられ、最近では市民社会論を中心にこれまでの研究を統合し、さらに発展させておられています。大学院では、博士前期課程で「家族問題研究」ならびに「同演習」を担当されます。計量的な手法にも精通しておられる方ですから、院生諸君も積極的に参加して、様々な研究手法を立木先生から修得されることを期待します。

また、2001年度の秋学期には、台湾から陳基南先生を客員教授としてお迎えします。陳先生は国立交通大学人文社会学院院长で、カルチュラル・ポリテック、カルチュラル・スタディーズをベースに台湾を中心とした日本を含む東アジア研究に従事してこられました。最近は、「空間理論」(Space Theory)、コミュニティの再活性化や地域の震災復興問題、さらには地域アイデンティティなどコミュニティや空間イメージという地域と人々の関わりという問題を精力的に研究しておられます。アジア研究に関心がある人ばかりでなく、地域社会研究や文化研究に関心のある院生にとっても、大きな刺激を与えていただけるものと考えております。

今年度、社会学専攻でははじめて博士課程後期の院生を送り出すことになりました。2000年9月には、『関西文化学術研究都市における環境共生型まちづくりの研究—地域環境の保全から創造へ』で杉本久未子さんに対して社会学専攻初の博士号が授与されました。杉本さんは4月より大阪人間科学大学人間科学部の専任講師に就任されます。博士後期課程が完成し、初の博士号、初の就職者が誕生したことで、社会学専攻の大学院も新たなステージに入ります。

なお、今年度は杉本さんを含め2名が博士後期課程を終え、博士前期課程では8名が修士論文を提出し修士号を授与されました。入れ替わって後期課程には1名、前期課程には5名が入学します。

## 2000 年度 博士論文題目

氏 名	論 文 題 名
杉 本 久未子	関西文化学術研究都市における環境共生型まちづくりの研究 ——地域環境の保全から創造へ——

## 2000 年度 修士論文題目

福 井 光 道	ボランティア活動にみる主婦の「生き方」 ——家庭外における自主的・主体的な活動の展開——
池 田 真 人	偶然性と必然性の交差 ——ルーマンのダブルコンティンジェンシーの論理を 手掛かりに——
大 谷 弘 毅	社会構築主義社会問題論の批判的検討 ——言語と非言語の狭間で——
清 水 睦 子	「情報縁」、「選択縁」、ネットワークを読み解く CMC から face to face の関係に移っていったファン集団の事 例から
新 名 主 敏 史	不登校問題における脱医療化をめぐる ——『親の会』等の活動と子ども観を中心に——
吉 田 崇	「近代化論」の再検討 ——ナショナリズムの論理の位置づけを手がかりに——
吉 田 泰 基	「階層文化」としてのタカラヅカ
荒 井 英 明	多民族国家の与党： UMNO の成立過程・初期の政策の分析を通して

## 執筆者紹介

鯨坂 学 (あじさか まなぶ)

同志社大学文学部教授

地域社会学、都市社会学

majisaka@mail.doshisha.ac.jp

湯浅 俊郎 (ゆあさ としろう)

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程

都市社会学、地域社会学

ls3808@mail2.doshisha.ac.jp

星 眞理子 (ほし まりこ)

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程

農村社会学、家族社会学

lr3803@mail2.doshisha.ac.jp

吉原 千賀 (よしはら ちか)

奈良女子大学大学院人間文化研究科複合領域科学専攻 博士後期課程

(2000年3月博士前期課程修了)

家族社会学、きょうだい社会学

aac.yoshihar@cc.nara-wu.ac.jp

杉本久未子 (すぎもと くみこ)

京都女子大学非常勤講師

(2000年9月博士後期課程修了)

地域社会学、環境社会学

kumisugimoto@ohs.ac.jp

**HATTORI, Tamio** (服部 民夫)

同志社大学文学部教授

比較社会学、開発の社会学

thattori@mail.doshisha.ac.jp

吉岡 威史 (よしおか たけし)

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程

文化社会学、ライフコース論

ela3802@mail2.doshisha.ac.jp

川上 敦子 (かわかみ あつこ)

Arapahoe Community College Arts, Humanities & Social Sciences Division Part Time  
Faculty

(2000年3月博士前期課程修了)

家族社会学、社会化論

atsuko\_desu@hotmail.com

春木 育美 (はるき いくみ)

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程

政治社会学、韓国研究

RXV12261@nifty.ne.jp

伊藤 耕太 (いとう こうた)

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士前期課程

情報社会学、文化研究

atok@dab.hi-ho.ne.jp

宍戸 邦章 (ししど くにあき)

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻 博士前期課程

家族社会学、老年社会学

kuniaki@oak.ocn.ne.jp

(執筆順、所属は2001年3月31日現在)

## ◆編集後記◆

『同志社社会学研究』第5号をお届けします。

本号には、鯉坂学先生を中心とした、共同研究の成果を巻頭に、服部民夫先生の英語論文、さらには後期課程院生の論文、前期課程を終えてアメリカに渡った川上敦子さんの論文、さらには前期課程、後期課程の院生の研究ノート3点と、非常にバラエティに富んだ構成になっております。

大学院生も後期課程の学生が多くなり、学会のレフリージャーナルや『評論・社会科学』に投稿する人が増えていて、今回は投稿論文が集まるかどうか心配しておりましたが、結果的には創刊号に次ぐ厚さになりました。今後とも、積極的な研究活動と成果の公刊が続きますことを祈っております。さらに充実した雑誌とするためには、公表された結果に対する皆さまのご意見やご批判が不可欠です。今号から執筆者紹介のところに、メールアドレスを加えております。お読みいただけましたら、是非、ご意見、ご感想、ご批判等をお送りいただけますようお願いいたします。(尾嶋)

## ◆編集委員◆

北村日出夫

尾嶋 史章

加茂 陽

上野 雪絵

金 香男

奥村 隆宏

小林 大祐

宍戸 邦章

同志社社会学研究 第5号

2001年3月31日発行

発行人 同志社社会学研究学会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3441

FAX. 075-251-3066

印刷 協和印刷株式会社